

内科における研修の目標、方略(方法)及び評価

1 独自の研修目標・目的

救急外来、一般診療で受診される患者様の全身を診察し、各科の専門家に紹介し、相談しながら的確な診断をし、治療方針を決定し、治療する能力を育てる。そのために、内科全般にわたる基本的な知識、技能、姿勢、態度を習得する。

2 内科研修の特徴

血液、呼吸器、腎臓、高血圧、感染症などの専門医の指導のもとに、専門にこだわらない幅広い診療能力を育てる。さらに診断困難な症例に対処する力を養う。
医師として必須の診察法、検査法、補液法などについてプライマリーケアの能力を身につける。

3 研修の目標・目的達成のための方略・方法

主治医と協力し、担当医として入院患者様の実際の診療に当たる。
二年次には、内科新患症例を新患担当医の指導のもと、外来担当医として診察する。
また、チーム制をとらず、担当医としての意識をもって診療に当たる。
研修医による症例提示や症例報告を定期的に行う。

4 目標達成の評価

一人ひとりの患者様の診断、治療方針につき、指導医に相談し評価を受ける。
症例提示や検討会での発表内容に評価を受ける。
ローテーション終了時に指導医や看護部による総合的評価を受ける。

5 検査

血液、生化学、免疫、細菌、一般、生理など多岐にわたる血液、尿、胸水などの検査項目について理解し、検査を施行し結果を判断する能力をつける。
骨髄穿刺検査を施行し、診断する能力をつける。
胸部単純レントゲン写真を始めとした各種画像検査の診断能力を高める。
気管支鏡検査、経皮的腎生検などの諸検査に参加する。

6 カンファランス

X線フィルム(胸部単純Xp中心)検討会 月～金 毎日16:30～
病棟症例検討会(新入院患者を研修医が紹介する) 火曜 ミーティングにて
症例報告(研修医が症例を提示し検討する) 火曜 ミーティングにて
年4回 市内病院カンファランス(当院、仙台逡信病院、NTT東北病院、JR仙台病院)

7 週間スケジュール

	午前	午後	夕方
月	救命救急センター・病棟業務	総回診	X線フィルム検討会
火	救命救急センター・病棟業務	ミーティング	X線フィルム検討会
水	救命救急センター・病棟業務		X線フィルム検討会
木	救命救急センター・病棟業務		X線フィルム検討会
金	救命救急センター・病棟業務		X線フィルム検討会

8 研究活動等

日常的に医師としての学術的アプローチの指導も行なう。具体的には、市内病院カンファランスや学会発表の指導と、その後の症例報告執筆の指導を行う。